

やまがた木育プログラム体験会

サクランボの木のアイススプーンづくり

山形県産業科学館



12月14日（日）山形県産業科学館において、やまがた木育プログラム体験会「サクランボの木のアイススプーンづくり」を行いました。

今回の講師は松田泰之さん、明日美幸さん、大山正平さん、杉山真希さんが務めました。そして、前年度行つたハイパースキルアップ講習の経験を活かし、新たな体験内容とするために、講師の皆さまに相談しながら体験の企画・作成相談を行い、さらに材料や木育講話を準備にも大きくご協力いただきました。

サクランボの木は、今までの体験で取り組んできた樹木であるブナ・スギなどとは大きく性質の異なる「果樹」です。山形県ではサクランボから果実の恵みを受けて、人々の生活を豊かにしてきました。木材として活用する

さくらんぼの木のアイススプーンづくり

明日美幸さん、大山正平さん、杉山真希さんが務めました。そして、前年度行つたハイパースキルアップ講習の経験を活かし、新たな体験内容とするために、講師の皆さまに相談しながら体験の企画・作成相談を行い、さらに材料や木育講話を準備にも大きくご協力いただきました。

木工体験は「小刀」を主役として行いました。小さなサクランボの木の板に、作りたいスプーンの形でマークリングしてもらい、それを目安に小刀で削つてもらいました。およそ削り終えた後は、粗いお手仕上げた後、粉を落として油塗りをしたら完成となります。

初めて「小刀」を取り入れた体験のため、講師側も緊張しましたが、特に注意を払つて指導に当たり、無事、完

成できあがり、喜んでいた

【参加された方の感想】

- 刃物の使い方がとても勉強になりました。
- 木のことが知れて、面白かった。小刀の使い方も知れて、子どもも楽しんでいました。
- 自分で作ったスプーンでアイスを食べる楽しみがあったので、とてもがんばりました。
- 子供に小刀を初めて使わせましたが良い経験になりました。

【スタッフの振り返り・感想】

- 今後、小刀用の砥石を使ってもらい削りやすくして体験してもらいたい。替え刃が使えるクラフト用ナイフでもいい。
- 小刀で削りやすい鉛筆や棒状の資材を用いて練習してもらうといい。
- 小刀を使えない未就学児が参加時に暇になるので、代わりに紙やすりを体験する材を用意するといい。



作成日
2025年12月19日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと！

今回の材料は、松田講師に依頼し、厳選したサクランボの立木を材料として準備していただいたものです。大切に使わせていただきました。

個人的に、小刀の指導をするのは初めてで、ハラハラした部分もありましたが、無事怪我なく実施できました。そして参加者から初めて小刀を使い、楽しめたというお言葉を頂いて大変嬉しく思いました。
(担当Y)

20名の方に
参加いただきました！

県民みんなで
支える森づくり

